

# Web サイトについての研究

東京都立戸山高等学校 SS 情報 1 年 木津佑太

## 研究背景

毎日の生活で Google などの検索エンジンを使用しない日はほとんどなくなってきている。そして、検索をすると Web サイトが表示されて、自分の調べたいことを知ることができるようになっている。

## 研究目的

現代社会で必須となっている Web サイトは、どのようにすれば見やすくなるのか、どのような工夫をすればよいのか等を探求することを本研究の目的とする。

## 研究方法

今回は色による見やすさの違いと、写真や文章の配置によって変わる見やすさについて調べる。そのために同じ写真、写真で色の系統が違う 3 種類の Web サイトと同じ色を基調として、異なる配置をした 3 種類の Web サイトを HTML と CSS を用いて作成した。

### 色を変えた Web サイト

A,赤を基調とした Web サイト

B,青を基調とした Web サイト

C,緑を基調とした Web サイト

### 配置を変えたサイト

1,グリッドレイアウト

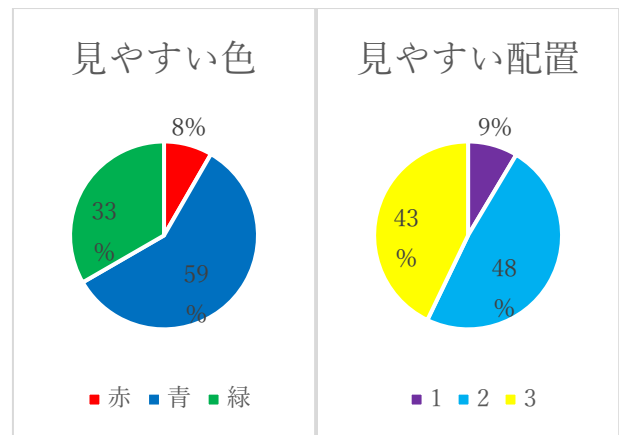
2,ニュース系情報サイトをイメージ

3,EC サイトをイメージ

それぞれの Web サイトの見やすさについて Twitter や LINE を用いてアンケートを取り、その結果についてまとめ考察する。

なお、今回の Web サイトの内容は私の好きなダンス&ボーカルグループの Da-iCE についてまとめたものである。また、これまでの研究により「青」はほかの色よりも“見やすい”という傾向があることが分かっている。

## 結果



## 考察・結論

以前の調査の通りやはり見やすい色は青が多かった。青には落ち着くという心理効果があるためであろう。また、同じ配置であるのにここまでの差が出るということは色による効果だといえるだろう。

また、配置を変えた調査ではニュース情報サイトをイメージして作成した Web サイトが最も見やすいという結果となった。逆に極端に少ないグリッドレイアウトをイメージした Web サイトは情報を紹介する今回のケースには向いていなかった言とえるだろう。

## 今後の展望

今回は Web サイトの色と配置についての研究を行った。しかし、他にもサイトを形作るものはたくさんある。他の要素についても研究していくことで Web サイトについての理解を深めていきたいと思う。

## 作成した Web サイト

<https://johnnykizu.github.io/aboutDa-iCE/>